

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 7 部門第 1 区分  
【発行日】平成 29 年 8 月 3 日 (2017.8.3)

【公開番号】特開 2016-91778 (P2016-91778A)  
【公開日】平成 28 年 5 月 23 日 (2016.5.23)  
【年通号数】公開・登録公報 2016-031  
【出願番号】特願 2014-224400 (P2014-224400)  
【国際特許分類】

H 0 1 R 13/631 (2006.01)

H 0 1 R 13/64 (2006.01)

【F I】

H 0 1 R 13/631

H 0 1 R 13/64

【手続補正書】  
【提出日】平成 29 年 6 月 20 日 (2017.6.20)  
【手続補正 1】  
【補正対象書類名】特許請求の範囲  
【補正対象項目名】全文  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【特許請求の範囲】  
【請求項 1】

カムフォロアを有する相手側ハウジングと嵌合するレバー式コネクタであって、  
コネクタハウジングと、

前記カムフォロアを受け入れるカム溝を有するカム板部を備え、前記カム溝への前記カムフォロアの進入を許容する初期位置から正規嵌合位置まで前記カム板部を回動させるのに伴って前記カム溝と前記カムフォロアとのカム作用によって前記相手側ハウジングを前記コネクタハウジングに対して相対的に引き寄せるレバーとを備え、

前記レバーが、前記カム板部から延出された押し戻し部を備えるとともに、前記コネクタハウジングにおいて前記相手側ハウジングと対向する端縁よりも引っ込んで配置され、

前記コネクタハウジングが、前記レバーが前記正規嵌合位置にあるときに前記押し戻し部に当接することで前記レバーを前記正規嵌合位置から初期位置へ向かって付勢する押し戻し片受け部を備え、

前記レバーの回動中心と前記押し戻し部において前記カム板部に接続している一端部とを結ぶ線と前記押し戻し部とで作られる角部の角度が 90°より大きい、レバー式コネクタ。

【請求項 2】

前記押し戻し部が、前記カム板部から連なる本体部と、前記本体部の延出端から連なり、前記本体部に対して角度をなして延びるフック部とを備え、前記本体部が、前記一端部から前記延出端に向かうにつれて細くなる先細り形状となっている、請求項 1 に記載のレバー式コネクタ。

【請求項 3】

前記フック部が、全長にわたって同じ太さとなっている、請求項 2 に記載のレバー式コネクタ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0007  
【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0007】

本明細書によって開示されるレバー式コネクタは、カムフォロアを有する相手側ハウジングと嵌合するコネクタであって、コネクタハウジングと、前記カムフォロアを受け入れるカム溝を有するカム板部を備え、前記カム溝への前記カムフォロアの進入を許容する初期位置から正規嵌合位置まで前記カム板部を回動させるのに伴って前記カム溝と前記カムフォロアとのカム作用によって前記相手側ハウジングを前記コネクタハウジングに対して相対的に引き寄せるレバーとを備え、前記レバーが、前記カム板部から延出された押し戻し部を備えるとともに、前記コネクタハウジングにおいて前記相手側ハウジングと対向する端縁よりも引っ込んで配置され、前記コネクタハウジングが、前記レバーが前記正規嵌合位置にあるときに前記押し戻し部に当接することで前記レバーを前記正規嵌合位置から初期位置へ向かって付勢する押し戻し片受け部を備え、前記レバーの回動中心と前記押し戻し部において前記カム板部に接続している一端部とを結ぶ線と前記押し戻し部とで作られる角部の角度が90°より大きい。

## 【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0015】

【図1】レバー式コネクタの相手側コネクタとの嵌合前の状態を示す部分断面図

【図2】レバー式コネクタの相手側コネクタとの嵌合初期の状態を示す部分断面図

【図3】レバー式コネクタの相手側コネクタとの嵌合途中において、レバーが回動を開始した状態を示す部分断面図

【図4】レバー式コネクタの相手側コネクタとの嵌合途中において、押し戻し片が押し戻し片受け部に当接した状態を示す部分断面図

【図5】レバー式コネクタの相手側コネクタとの嵌合途中において、押し戻し片が押し戻し片受け部によって撓んだ状態を示す部分断面図

【図6】レバー式コネクタの相手側コネクタとの嵌合が完了した状態を示す部分断面図

## 【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0025】

各カム板部21は、レバー20が初期位置に配置されたときにハウジング10の開口縁13Eに近接して配置される第1辺 $21S_1$ （図1の左側の辺）と、この第1辺 $21S_1$ と反対側に位置する第2辺 $21S_2$ （図1の右側の辺）とを有している。第1辺 $21S_1$ は、レバー20が初期位置に配置された状態で、ハウジング10の開口縁13Eよりも引っ込んで（奥壁部12に近接して）配置されている。